

## 編集後記

2013年の北海道の春は、残雪のなかで足踏みしています。

しかし、遅い春とはいえ、春になれば飛来する白鳥が今年もやってきました。雪解けで顔を出した水田にその長い首をおりまげて、懸命に何かをついばむ姿は水田の黒と白鳥の白がおりなすコントラストの美しさがあります。白鳥のしなやかな姿は、まるでいくつもの綿帽子を散りばめたかのようです。毎年この風景は数日しか遭遇することができませんが、そもそも、白鳥たちは一体どこで雪解けのタイミングをキャッチし飛来してくるのでしょうか。社会を俯瞰する「鳥の目」でとらえているからなのでしょう。

さて、本誌も本巻で創刊から9巻にいたり、次巻は10年の節目をむかえることとなります。今回は中島紀恵子先生の特別寄稿、さらに原著論文6編、短報13編、全体で20編の多くの論文の掲載をすることができました。多くの皆様の貴重な研究に関する投稿をいただいたことに感謝申し上げます。そして、ご多忙にもかかわらず快く査読をお引き受けいただいた先生方に衷心より感謝申し上げます。

今回のいずれの論文も私達の日常生活や社会の変化のなかで生じている諸課題に対し、まさに自明視することなく「鳥の目」で捉え、さらに「虫の目」「魚の目」をもって、さまざまな関心や疑問のもとに研究に取り組まれたものであり、今後のさらなる研究に期待がもたれるものとなっております。

雪解けの季節の白鳥のごとく、社会の諸状況を柔軟にキャッチし、その状況に対し研究や実践として対峙していけるようにありたいものです

鈴木、笹木、大友、内ヶ島

---

北海道医療大学看護福祉学部学会誌 第9巻 1号

2013年3月31日発行

発行者 野川 道子

発行所 北海道医療大学看護福祉学部学会

編集担当 鈴木 幸雄、笹木 弘美、大友 芳恵、内ヶ島伸也

印刷所 社会福祉法人 北海道リハビリ

---